

# レッスン 5



# TWT BIBLE SCHOOL

学生用ノート | 日本語

## I. イスラエル — 聖なる国民の始まり

- A. 神は、ご自身が契約を結ばれた選びの民イスラエルを通して、ご自身の聖さを世界に現そうと望まれた。

**出エジプト記19:5-6**「それで、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るならば、あなたがたはすべての民にまさって、わたしの宝となるであろう。全地はわたしの所有だからである。‘あなたがたはわたしに対して祭司の国となり、また聖なる民となるであろう’。これがあなたのイスラエルの人々に語るべき言葉である。」

**レビ記18:3**「あなたがたの住んでいたエジプトの国の習慣を見習ってはならない。またわたしがあなたがたを導き入れるカナンカナンの国の習慣を見習ってはならない。また彼らのために歩んではならない。」

**1ペテロ2:9**「しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。」

## II. 神が望まれる聖なる民

### A. 神は聖なるお方

**レビ記11:44**「わたしはあなたがたの神、主であるから、あなたがたはおのれを聖別し、聖なる者とならなければならない。わたしは聖なる者である。地にはうこのものによって、あなたがたの身を汚してはならない。」

**出エジプト記29:46**「わたしが彼らのうちに住むために、彼らをエジプトの国から導き出した彼らの神、主であることを彼らは知るであろう。わたしは彼らの神、主である。」

 **#1:** 聖なる神との関係を持つためには、私たちも\_\_\_\_\_でなければなりません。

**申命記23:14**「あなたの神、主があなたを救い、敵をあなたにわたそうと、陣営の中を歩まれるからである。ゆえに陣営は聖なる所として保たなければならない。主があなたのうちにきたない物のあるのを見て、離れ去られることのないためである。」

### B. 神はどのようにしてイスラエルを世界の諸国民と区別されたのでしょうか。

- ① 神はご自身の聖なる臨在と力を彼らに現された。
- ② 神は彼らを治めるための聖なる律法をお与えになった。
- ③ 神は聖なる場所(幕屋)を建てるための設計図をお与えになった。
- ④ 神はご自身に仕えるための聖なる祭司職を定められた。
- ⑤ 神は彼らを聖なる地へと導いておられる。

### III. 神の聖なる臨在と力

- A. エジプトや周囲の国々とは異なり、神はご自身を唯一まことの神として現されました。

申命記6:4-5「イスラエルよ聞け。われわれの神、主は唯一の主である。<sup>5</sup>あなたは心をつくし、精神をつくし、力をつくして、あなたの神、主を愛さなければならない。」

イザヤ書44:6「主、イスラエルの王、イスラエルをあがなう者、万軍の主はこう言われる、「わたしは初めであり、わたしは終りである。わたしのほかに神はない。」

 #2: 神は、ご自身が\_\_\_\_\_神であることを示すことによって、イスラエルにご自身の聖さを現されました。

- B. 神は、エジプトの神々をさばき、紅海でエジプト軍を滅ぼすことによって、ご自身が唯一まことの生ける神であることを力強く示されました。

出エジプト記12:12「その夜わたしはエジプトの国を巡って、エジプトの国におる人と獣との、すべてのういごを打ち、またエジプトのすべての神々に審判を行うであろう。わたしは主である。」

- C. シナイ山で、神はイスラエルにご自身の聖なる臨在を垣間見せられました。

出エジプト記20:18「民は皆、かみなりと、いなずまと、ラッパの音と、山の煙っているのを見た。民は恐れおののき、遠く離れて立った。」

### IV. 神の聖なる律法

- A. 神の律法は、イスラエルに対する神の御心を反映していました。

申命記7:6-8「あなたはあなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地のおもてのすべての民のうちからあなたを選んで、自分の宝の民とされた。<sup>7</sup>主があなたがたを愛し、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの国民よりも数が多かったからではない。あなたがたはよろずの民のうち、もっとも数の少ないものであった。

<sup>8</sup>ただ主があなたがたを愛し、またあなたがたの先祖に誓われた誓いを守ろうとして、主は強い手をもってあなたがたを導き出し、奴隷の家から、エジプトの王パロの手から、あがない出されたのである。」

**B. 律法はシナイ山でモーセに与えられ、その中心となる十戒は出エジプト記20章1～17節に記されています。**

1. 「あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。」(20:3)
2. 「あなたは自分のために、刻んだ像を造ってはならない。」(20:4)
3. 「あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。」(20:7)
4. 「安息日を覚えて、これを聖とせよ。」(20:8)
5. 「あなたの父と母を敬え。これは…あなたが長く生きるためである。」…”(20:12)
6. 「あなたは殺してはならない。」(20:13)
7. 「あなたは姦淫してはならない。」(20:14)
8. 「あなたは盗んではならない。」(20:15)
9. 「あなたは隣人について、偽証してはならない。」(20:16)
10. 「あなたは…むさぼってはならない。」(20:17)



**C. 律法は罪を明らかにし、私たちをキリストへ導く**

**ガラテヤ3:19**「それでは、律法はなんであるか。それは違反を促すため、あとから加えられたのであって、約束されていた子孫が来るまで存続するだけのものであり、かつ、天使たちをとおり、仲介者の手によって制定されたものにすぎない。」

**ガラテヤ3:24-25**「このようにして律法は、信仰によって義とされるために、わたしたちをキリストに連れて行く養育掛となったのである。<sup>25</sup>しかし、いったん信仰が現れた以上、わたしたちは、もはや養育掛のもとにはいない。」

 **#3:** 律法は罪を明らかにし、私たちに\_\_\_\_\_が必要であることを示します。

## V. 神の聖なる住まい — 幕屋

### A. 神はモーセに幕屋建設の設計図を与えられた。

出エジプト記25:9「すべてあなたに示す幕屋の型および、そのもろもろの器の型に従って、これを造らなければならない。」

ヘブル人への手紙8:5 “「彼らは、天にある聖所のひな型と影とに仕えている者にすぎない。それについては、モーセが幕屋を建てようとしたとき、御告げを受け、「山で示された型どおりに、注意してそのいっさいを作りなさい」と言われたのである。」

### B. エジプトを出てから二年目に、幕屋は完成した。

出エジプト記40:17「第二年の正月になって、その月の元日に幕屋は建った。」

幕屋は完全に持ち運びができるように造られていたため、イスラエルの民は荒野で旅を続ける間、いつも神の臨在とともに歩むことができました。

### C. 幕屋は聖なる祭司職によって管理されていた。

民数記1:50-51「あなたはレビびとに、あかしの幕屋と、そのもろもろの器と、それに附属するもろもろの物を管理させなさい。彼らは幕屋と、そのもろもろの器とを持ち運び、またそこで務をし、幕屋のまわりに宿営しなければならない。<sup>51</sup>幕屋が進む時は、レビびとがこれを取りくずし、幕屋を張る時は、レビびとがこれを組み立てなければならない。ほかの人がこれに近づく時は殺されるであろう。」

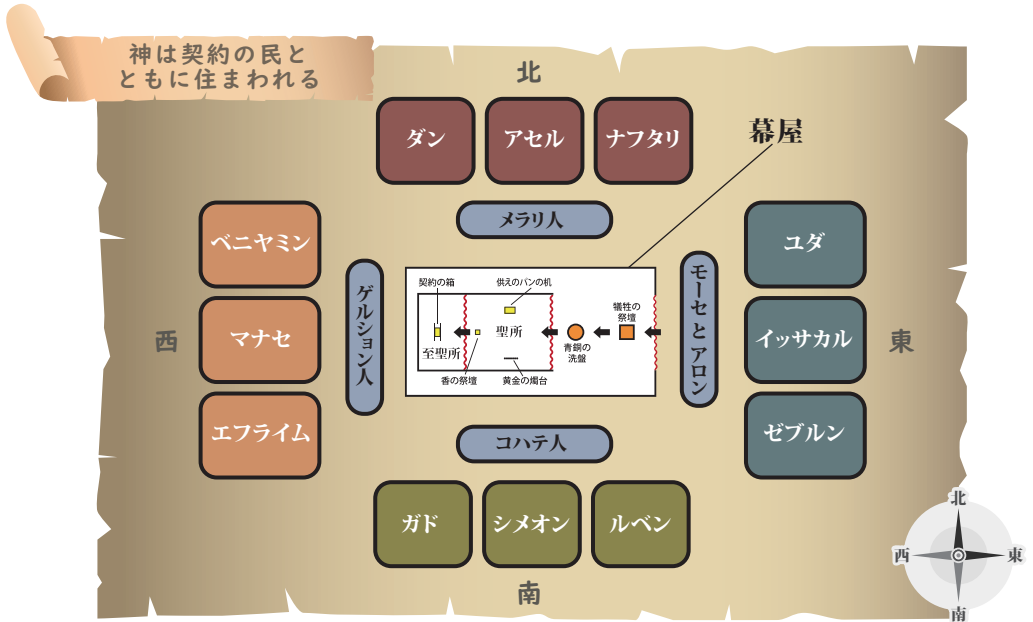
出エジプト記29:44「わたしは会見の幕屋と祭壇とを聖別するであろう。またアロンとその子たちを聖別し、祭司としてわたしに仕えさせるであろう。」

旧約聖書では、祭司として神に近づくことができたのは、選ばれた限られた人々だけでした。しかし、新約聖書では、イエス・キリストを信じるすべての真の信者が神の祭司とされ、神に近づき、霊的ないけにえをささげる特権が与えられています。

第一ペテロ2:5「この主のみもとにきて、あなたがたも、それぞれ生ける石となって、霊の家に築き上げられ、聖なる祭司となって、イエス・キリストにより、神によるこぼれる霊のいけにえを、ささげなさい。」

### D. イスラエルの子らは、常に幕屋を中心として宿営しなければならなかった。

民数記2:2「イスラエルの人々は、おのおのその部隊の旗のもとに、その父祖の家の旗印にしたがって宿営しなければならない。また会見の幕屋のまわりに、それに向かって宿営しなければならない。」



### E. 神の臨在は幕屋に宿る

**出エジプト記40:36-38**「雲が幕屋の上からのぼる時、イスラエルの人々は道に進んだ。彼らはその旅路において常にそうした。<sup>37</sup>しかし、雲がのぼらない時は、そののぼる日まで道に進まなかった。<sup>38</sup>すなわちイスラエルの家のすべての者の前に、昼は幕屋の上に主の雲があり、夜は雲の中に火があった。彼らの旅路において常にそうであった。」

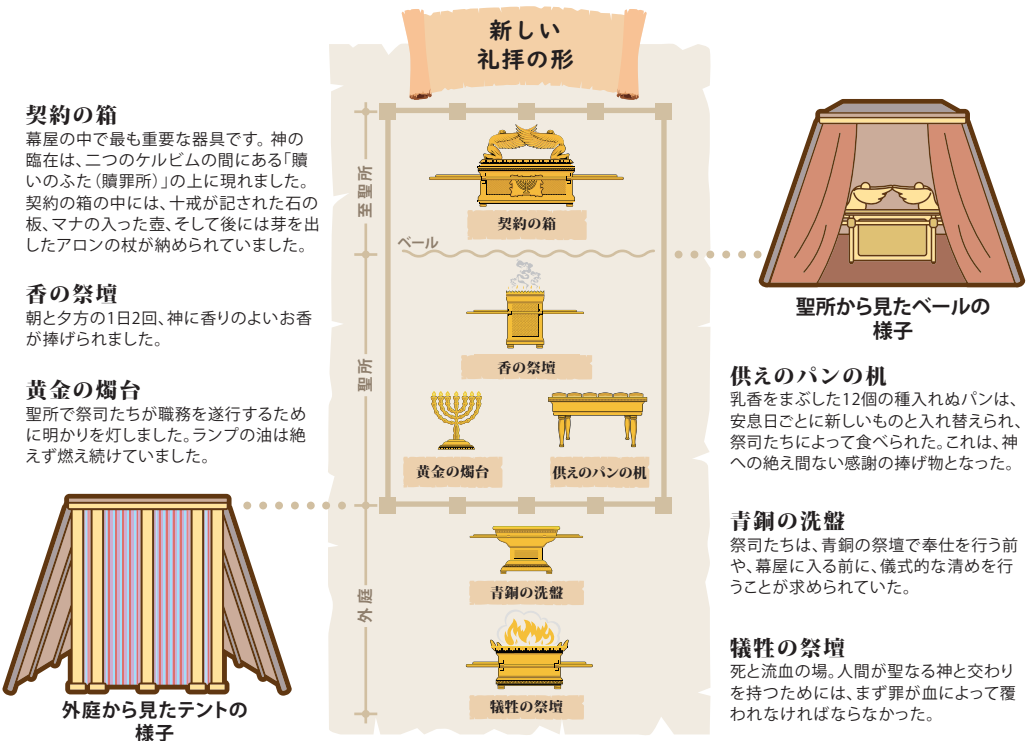
**民数記9:21-23**「また雲は夕から朝まで、とどまることもあったが、朝になって、雲がのぼる時は、彼らは道に進んだ。また昼でも夜でも、雲がのぼる時は、彼らは道に進んだ。<sup>22</sup>ふづかでも、一か月でも、あるいはそれ以上でも、幕屋の上に、雲がとどまっている間は、イスラエルの人々は宿営していて、道に進まなかったが、それがのぼると道に進んだ。<sup>23</sup>すなわち、彼らは主の命にしたがって宿営し、主の命にしたがって道に進み、モーセによって、主が命じられたとおりに、主の言いつけを守った。」

💡#4: 神の子どもとなるためには、神の御霊に\_\_\_\_\_ことが大事です。

## IV. 幕屋の備品(器具)

### A. 幕屋の概要

ヘブル人への手紙9:1-9「さて、初めの契約にも、礼拝についてのさまざまな規定と、地上の聖所とがあった。<sup>2</sup>すなわち、まず幕屋が設けられ、その前の場所には燭台と机と供えのパンとが置かれていた。これが、聖所と呼ばれた。<sup>3</sup>また第二の幕の後に、別の場所があり、それは至聖所と呼ばれた。<sup>4</sup>そこには金の香壇と全面金でおおわれた契約の箱とが置かれ、その中にはマナのはいつている金のつぼと、芽を出したアロンのつえと、契約の石板とが入れてあり、<sup>5</sup>箱の上には栄光に輝くケルビムがあつて、罪所をおおっていた。・・・<sup>6</sup>これらのものが、以上のように整えられた上で、祭司たちは常に幕屋の前の場所にはいつて礼拝をするのであるが、<sup>7</sup>幕屋の奥には大祭司が年に一度だけはいるのであり、しかも自分自身と民とのあやまちのためにささげる血をたずさえないで行くことはない。<sup>8</sup>それによって聖霊は、前方の幕屋が存在している限り、聖所にはいる道はまだ開かれていないことを、明らかに示している。<sup>9</sup>この幕屋というのは今の時代に対する比喩である。すなわち、供え物やいけにえはささげられるが、儀式にたずさわる者の良心を全うすることはできない。



💡#5: 幕屋は、私たちが聖なる神に近づくための \_\_\_\_\_ を示しています。

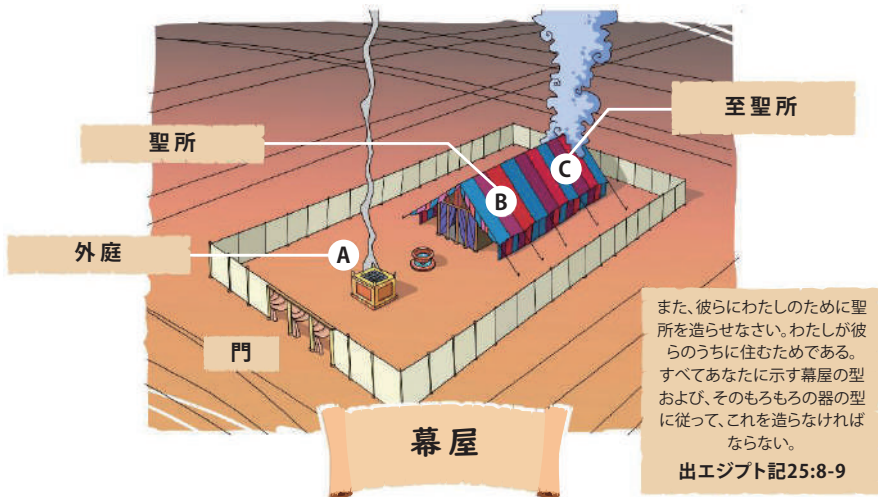
B. 幕屋は神の方法によって建てられた

出エジプト記26:30「こうしてあなたは山で示された様式に従って幕屋を建てなければならない。」

C. 外庭の門

ヨハネによる福音書10:9「わたしは門である。わたしをとおつてはいる者は救われ、また出入りし、牧草にありつくであろう。」

ヨハネによる福音書10:1「よくよくあなたがたに言うておく。羊の囲いにはいるのに、門からでなく、ほかの所からのりこえて来る者は、盗人であり、強盗である。」



予型論 (Typology) において、幕屋は福音の「ひな型 (型・実例)」です。

1. 福音とは、イエス・キリストの ① 死、② 葬り、そして ③ 復活を指します。

コリント人への第一の手紙15:1-4「兄弟たちよ。わたしが以前あなたがたに伝えた福音、あなたがたが受けいれ、それによって立ってきたあの福音を、思い起してもらいたい。<sup>2</sup>もしあなたがたが、いたずらに信じないで、わたしの宣べ伝えたとおりの言葉を固く守っておれば、この福音によって救われるのである。<sup>3</sup>わたしが最も大事なこととしてあなたがたに伝えたのは、わたし自身も受けたことであった。すなわちキリストが、聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死んだこと、<sup>4</sup>そして葬られたこと、聖書に書いてあるとおり、三日目によみがえったこと、」

2. 福音は一つであり、救いの計画も一つである。

**ガラテヤ人への手紙1:6-9**「あなたがたがこんなにも早く、あなたがたをキリストの恵みの内へお招きになったかたから離れて、違った福音に落ちていくことが、わたしには不思議でならない。<sup>7</sup>それは福音というべきものではなく、ただ、ある種の人々があなたがたをかき乱し、キリストの福音を曲げようとしているだけのことである。<sup>8</sup>しかし、たとえわたしたちであろうと、天からの御使であろうと、わたしたちが宣べ伝えた福音に反することをあなたがたに宣べ伝えるなら、その人はのろわるべきである。<sup>9</sup>わたしたちが前に言っておいたように、今わたしは重ねて言う。もしある人が、あなたがたの受けいれた福音に反することを宣べ伝えているなら、その人はのろわるべきである。」

3. 福音のメッセージは、一人ひとりが自ら適用し、従わなければならない。

**テサロニケ人への第二の手紙1:7-9**「それは、主イエスが炎の中で力ある天使たちを率いて天から現れる時に実現する。<sup>8</sup>その時、**主は神を認めない者たちや、わたしたちの主イエスの福音に聞き従わない者たちに報復し、<sup>9</sup>そして、彼らは主のみ顔とその力の栄光から退けられて、永遠の滅びに至る刑罰を受けるであろう。**」

💡#6: イエス・キリストの死・葬り・復活は、今日、私たち一人ひとりが自らに\_\_\_\_\_しなければ、救われることはできない。

#### D. 犠牲の祭壇

1. 青銅の祭壇についての神の具体的な指示

**出エジプト記27:1-2**「あなたはまたアカシヤ材で祭壇を造らなければならない。長さ五キュビト、幅五キュビトの四角で、高さは三キュビトである。<sup>2</sup>その四すみの上にその一部としてその角を造り、青銅で祭壇をおおわなければならない。」



#### 犠牲・死・血 が流される場所

祭司は、犠牲の祭壇（燔祭の祭壇）を通して幕屋へ近づき、そこで罪のためのいけにえをささげました。

イエス・キリストは、私たちのための完全ないけにえとなりました。

2. 死の場所

**レビ記17:11**「肉の命は血にあるからである。あなたがたの魂のために祭壇の上で、あがないをするため、わたしはこれをあなたがたに与えた。血は命であるゆえに、あがなうことができるからである。」

3. 新約聖書において、イエスは私たちの罪のための完全ないけにえとなられたイエス・キリストの完全な犠牲を受け入れ、福音に従うことです。

**ペテロの第一の手紙1:18-19**「あなたがたのよく知っているとおり、あなたがたが先祖伝来の空疎な生活からあがない出されたのは、銀や金のような朽ちる物によったのではなく、<sup>19</sup>きずも、しみもない小羊のようなキリストの尊い血によったのである。」

ヘブル人への手紙9:12「かつ、やぎと子牛との血によらず、ご自身の血によって、一度だけ聖所にはいられ、それによって永遠のあがないを全うされたのである。」

#### 4. 祭壇は福音における「死」の部分(悔い改め)

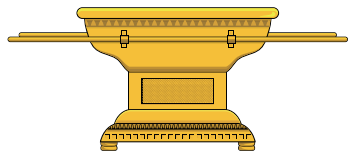
ルカによる福音書13:3「あなたがたに言うが、そうではない。あなたがたも悔い改めなければ、みな同じように滅びるであろう。」

マルコによる福音書1:15「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ。」

使徒行伝2:38「すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。」

💡 #7: 悔い改めは祭壇の \_\_\_\_\_ (アンチタイプ・成就) である。

### E. 青銅の洗盤



青銅の洗盤

#### 清めの場所

祭司は、祭壇で奉仕を行う前、また幕屋に入る前に、必ず洗盤で身を洗わなければなりません。

青銅の洗盤は、洗いと清めの場所でした。同じように、新約聖書において水のバプテスマは、罪からの洗いと清めを表しています。

#### 1. ここは洗い清めの場所です。

出エジプト記30:17-19「主はモーセに言われた、<sup>18</sup>「あなたはまた洗うために洗盤と、その台を青銅で造り、それを会見の幕屋と祭壇との間に置いて、その中

に水を入れ、<sup>19</sup>アロンとその子たちは、それで手と足を洗わなければならない。」

出エジプト記30:20-21「彼らは会見の幕屋にはいる時、水で洗って、死なないようにしなければならない。また祭壇に近づいて、その務をなし、火祭を主にささげる時にも、そうしなければならない。<sup>21</sup>すなわち、その手、その足を洗って、死なないようにしなければならない。これは彼とその子孫の代々にわたる永久の定めでなければならない。」

#### 2. 私たちの洗い清めは水のバプテスマによって行われる。

マルコによる福音書16:16「信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、不信仰の者は罪に定められる。」

使徒行伝22:16「そこで今、なんのためらうことがあろうか。すぐ立って、み名をとなえてバプテスマを受け、あなたの罪を洗い落しなさい。」

使徒行伝2:38「すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。」

ペテロの第一の手紙3:21「この水はバプテスマを象徴するものであって、今やあなたがたをも救うのである。それは、イエス・キリストの復活によるものであって、からだの汚れを除くことではなく、明らかな良心を神に願い求めることである。」

### 3. バプテスマは、福音における埋葬の部分完成させる。

ローマ人への手紙6:3-4「それとも、あなたがたは知らないのか。キリスト・イエスにあずかるバプテスマを受けたわたしたちは、彼の死にあずかるバプテスマを受けたのである。<sup>4</sup>すなわち、わたしたちは、その死にあずかるバプテスマによって、彼と共に葬られたのである。それは、キリストが父の栄光によって、死人の中からよみがえられたように、わたしたちもまた、新しいいのちに生きるためである。」

💡#8: イエスの御名による\_\_\_\_\_は、洗盤の実体である。

#### F. 聖所

##### 1. 黄金の燭台 (出エジプト記25:31-37)

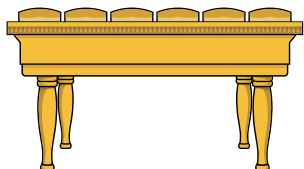
ヨハネによる福音書8:12「イエスは、また人々に語ってこう言われた、「わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう。」

##### 黄金の燭台

幕屋の中にある  
唯一の光



##### 2. 供えのパンの机 (出エジプト記25:23-30)



##### 供えのパンの机

祭司の  
日ごとのパン

ヨハネによる福音書6:35「イエスは彼らに言われた、「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。」

ルカによる福音書4:4「イエスは答えて言われた、『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある。』

##### 3. 香の祭壇 (出エジプト記30:1-10)

ヨハネの黙示録5:8「巻物を受けとった時、四つの生き物と二十四人の長老とは、おのおの、立琴と、香の満ちている金の鉢とを手にとって、小羊の前にひれ伏した。この香は聖徒の祈である。」

ヘブル人への手紙13:15「だから、わた

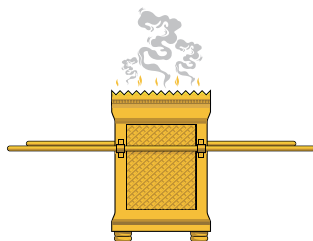
したちはイエスによって、さんびのいけにえ、すなわち、彼の御名をたたえるくちびるの実を、たえず神にささげようではないか。」

テサロニケ人への第一の手紙5:17-18「絶えず祈りなさい。<sup>18</sup>すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることである。」

##### 香の祭壇

火は、燔祭の祭壇(犠牲の祭壇)から運ばれました。

香の祭壇は幕の手前に置かれており、日々の祈りと賛美をささげる場所でした。



出エジプト記30:6「あなたはそれを、あかしの箱の前にある垂幕の前に置いて、わたしがあなたと会うあかしの箱の上にある贖罪所に向かわせなければならない。」

## G. 至聖所

### 1. 垂れ幕(厚い幕)― 聖所と至聖所を隔てる幕

出エジプト記26:33「その垂幕の輪を一に掛け、その垂幕の内にあかしの箱を納めなさい。その垂幕はあなたがたのために聖所と至聖所とを隔て分けるであろう。」

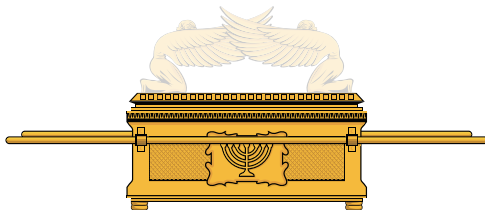
ヘブル人への手紙10:19-20「兄弟たちよ。こういうわけで、わたしたちはイエスの血によって、はばかりことなく聖所にはいることができ、<sup>20</sup>彼の肉体なる幕をとおし、わたしたちのために開いて下さった新しい生きた道をとって、はいって行くことができるのであり、」

マルコによる福音書15:37-38「イエスは声高く叫んで、ついに息をひきとられた。

<sup>38</sup>そのとき、神殿の幕が上から下まで真二つに裂けた。」

### 2. 契約の箱

ヘブル人への手紙9:4「そこには金の香壇と全面金でおおわれた契約の箱とが置かれ、その中にはマナのはいつている金のつぼと、芽を出したアロンのつえと、契約の石板とが入れてあり、」



#### a. マナの入ったつぼ ― イスラエルがつぶやき、不信仰であったことを思い起こさせるもの



マナの入った  
つぼ  
ヘブル9:4

出エジプト記16:2-4「その荒野でイスラエルの人々の全会衆は、モーセとアロンにつぶやいた。<sup>3</sup>イスラエルの人々は彼らに言った、「われわれはエジプトの地で、肉のなべのかたわらに座し、飽きるほどパンを食べていた時に、主の手にかかって死んでいたら良かった。あなたがたは、われわれをこの荒野に導き出して、全会衆を餓死させようとしている」。<sup>4</sup>そのとき主はモーセに言われた、「見よ、わたしはあなたがたのために、天からパンを降らせよう。民は出て日々の分を日ごとに集めなければならない。こうして彼らがわたしの律法に従うかどうかを試みよう。」

- b. 芽を出したアロンの杖 — 神が立てられた祭司職に対するコラの反逆と高ぶりを思い起こさせるもの



芽を出した  
アロンの杖  
ヘブル9:4

民数記17:1-5, 8-10「主はモーセに言われた、<sup>2</sup>「イスラエルの人々に告げて、彼らのうちから、おのおのの父祖の家にしたがって、つえ一本ずつを取りなさい。すなわち、そのすべてのつかさたちから、父祖の家にしたがって、つえ十二本を取り、その人々の名を、おのおのそのつえに書きしるし、<sup>3</sup>レビのつえにはアロンの名を書きしるしなさい。父祖の家のかしらは、おのおののつえ一本を出すのだからである。<sup>4</sup>そして、これらのつえを、わたしがあなたがたに会う会見の幕屋の中の、あかしの箱の前に置きなさい。<sup>5</sup>わたしの選んだ人のつえには、芽が出るであろう。こうして、わたしはイスラエルの人々が、あなたがたにむかって、つぶやくのをやめさせるであろう」。

<sup>8</sup>その翌日、モーセが、あかしの幕屋にはいって見ると、レビの家のために出したアロンのつえは芽をふき、つぼみを出し、花が咲いて、あめんどうの実を結んでいた。<sup>9</sup>モーセがそれらのつえを、ことごとく主の前から、イスラエルのすべての人の所に持ち出したので、彼らは見て、おのおの自分のつえを取った。<sup>10</sup>主はモーセに言われた、「アロンのつえを、あかしの箱の前に持ち帰り、そこに保存して、そむく者どものために、しるしとしなさい。こうして、彼らのわたしに対するつぶやきをやめさせ、彼らの死ぬのをまめかれさせなければならない。」

- c. 十戒の石の板 — イスラエルの民が金の子牛を拝み、神に反逆したことを思い起こさせるものでした。その反逆の結果、最初に与えられた石の板は砕かれました。

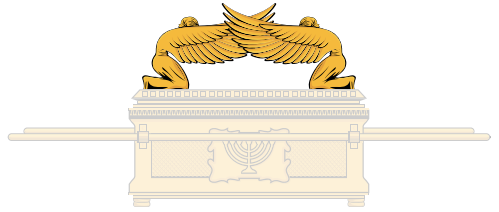


石の板  
出エジプト記25:16

出エジプト記32:1-19「民はモーセが山を下ることのおそいを見て、アロンのもとに集まって彼に言った、「さあ、わたしたちに先立って行く神を、わたしたちのために造ってください。わたしたちをエジプトの国から導きのぼった人、あのモーセはどうなったのかわからないからです」。・・・<sup>4</sup>アロンがこれを彼らの手から受け取り、工具で型を造り、鑄て子牛としたので、彼らは言った、「イスラエルよ、これはあなたをエジプトの国から導きのぼったあなたの神である」。・・・<sup>7</sup>主はモーセに言われた、「急いで下りなさい。あなたがエジプトの国から導きのぼったあなたの民は悪いことをした。・・・<sup>19</sup>モーセが宿営に近づくと、子牛と踊りを見たので、彼は怒りに燃え、手からかの板を投げうち、これを山のふもとで砕いた。」

3. 贖いの座 — 神の御霊は、贖いの座の上に臨在しておられました。

出エジプト記25:22「その所でわたしはあなたに会い、贖罪所の上から、あかしの箱の上にある二つのケルビムの間から、イスラエルの人々のために、わたし<sup>が</sup>命じようとするもろもろの事を、あなたに語るであろう。」



💡#9: \_\_\_\_\_ のバプテスマは、至聖所と契約の箱の実体である。

ローマ人への手紙8:11「もし、イエスを死人の中からよみがえらせたかたの御霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリスト・イエスを死人の中からよみがえらせたかたは、あなたがたの内に宿っている御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだをも、生かしてくださるであろう。」

エゼキエル書36:26-27「わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい霊をあなたがたの内に授け、あなたがたの肉から、石の心を除いて、肉の心を与える。<sup>27</sup>わたしはまたわが霊をあなたがたのうちに置いて、わが定めに歩ませ、わがおきてを守ってこれを行わせる。」

イザヤ書28:11-12「否、むしろ主は異国のくちびると、異国の舌とをもつてこの民に語られる。<sup>12</sup>主はさきに彼らに言われた、「これが安息だ、疲れた者に安息を与えよ。これが休息だ」と。しかし彼らは聞こうとはしなかった。」

使徒行伝2:4「すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。」

## VI. 神の聖なる地

民数記35:34「あなたがたは、その住む所の地、すなわちわたしのおる地を汚してはならない。主なるわたしがイスラエルの人々のうちに住んでいるからである。」

出エジプト記3:17「それでわたしはあなたがたを、エジプトの悩みから導き出して、カナンびと、ヘテびと、アモリびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとの地、乳と蜜の流れる地へ携え上ろうと決心した」と。』

ヘブル人への手紙11:13, 16「これらの人はみな、信仰をいだいて死んだ。まだ約束のものは受けていなかったが、はるかにそれを望み見て喜び、そして、地上では旅人であり寄留者であることを、自ら言いあらわした。<sup>16</sup>しかし実際、彼らが望んでいたのは、もっと良い、天にあるふるさとであつた。だから神は、彼らの神と呼ばれても、それを恥とはされなかった。事実、神は彼らのために、都を用意されていたのである。」

## VII. 幕屋と聖なる救い主

ヘブル人への手紙9:11-12「しかしキリストがすでに現れた祝福の大祭司としてこられたとき、手で造られず、この世界に属さない、さらに大きく、完全な幕屋をとおり、<sup>12</sup>かつ、やぎと子牛との血によらず、ご自身の血によって、一度だけ聖所にはいられ、それによって永遠のあがないを全うされたのである。」

幕屋には二つの道があります。

### 1. 人から神へ — 信仰の道

外庭の門 → 燔祭の祭壇 → 青銅の洗盤 → 契約の箱 → 至聖所

### 2. 神から人へ — 恵みの道

至聖所 → 契約の箱 → 青銅の洗盤 → 燔祭の祭壇 → 外庭の門

これから起こる素晴らしいこと！

ヘブル8:5; 9:8-10:1



💡#10: 神は肉となって\_\_\_\_\_。それは、私たちが信仰によって神に近づくことができるためである。

神は、ご自身との関係を築くための道を、非常に明確かつまっすぐに示してくださいました。

レッスン6: 次回のレッスンでは、神の小羊であり、世の救い主である  
イエス・キリストについて学びます。

Tokyo Worship Tabernacle Bible School 2026  
[Material based on "God's Plan Revealed", Joy Fellowship, Singapore]

東京賛美の宮聖書学校2026

【「神の計画が明らかに」、ジョイ・フェローシップ、シンガポール、に基づく資料】

TokyoWorshipTabernacle 東京賛美の宮

Japan United Pentecostal Church :: 日本ユナイテッドペンテコステ教会

[www.tokyoworshiptabernacle.org](http://www.tokyoworshiptabernacle.org) • [tokyoworshiptabernacle@gmail.com](mailto:tokyoworshiptabernacle@gmail.com)